

1. 緑の駐車場とグリーントレンチ

車止め部分の後部部分を緑化し、浸透トレンチや通気・透水管を敷設し、雨水浸透設備にすることにより、緑の景観形成のみならず、樹木の健全な生育と雨水浸透施設面積の拡大につながる。

車止め部分の後部部分を緑化する場合、荷物の出し入れによる踏圧を考慮して、保護材を設置するか平板敷にする。

浸透トレンチや浸透ますは緑地の内部に設け、植物に水を供給するようにする。また、高木を植える場合には、縦引きの通気・透水管を敷設するのが望ましい。

グランドカバープランツ類には、シバやイワダレソウ、タマリユウ、ヘデラ・カナリエンシス等を植える。

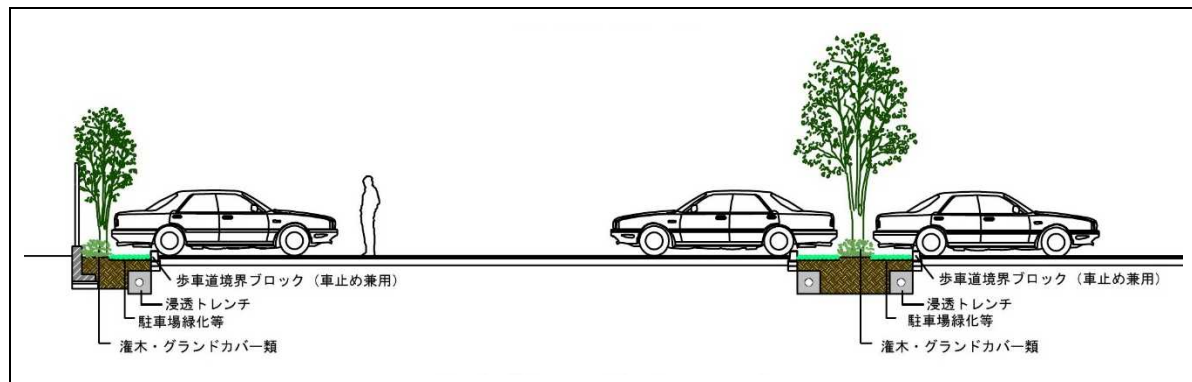


図1 浸透トレンチを設けた緑の駐車場の断面例



2. 緑の駐車場と緑化舗装

都市には、人々の生活の利便性や経済活動を支える自動車のために、数多くの駐車場があるが、多くはアスファルト舗装立体駐車場などのままであり緑化されていない状況です。駐車場の緑化の推進は、快適なまちづくりのために非常に重要な取り組みと考えられる。

駐車場緑化には、一般的な車止め後部の緑化の他、駐車スペースの緑化も可能な各種の緑化舗装材・工法が開発されている。グリーントレンチとの併用が望まれる。

